



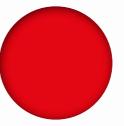
## ブルガリア、そしてハスコヴォ市

ブルガリアはヨーロッパの中でもたいへん古い歴 史を誇る国の一つです。長い歴史を通して栄華も 衰退も経験しました。アジアとヨーロッパの東西 を結ぶ重要な通過点にあるハスコヴォ市の歴史 は、ブルガリア史の縮図のようなものです。



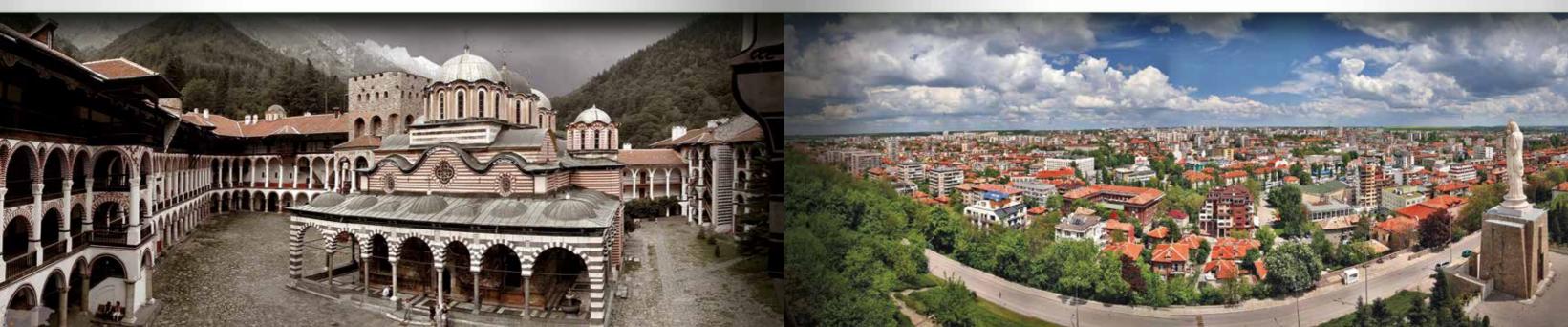
市内で発見された最古の集落遺跡は紀元前5000年のものとされています。先史時代、トラキア時代、ローマ時代、古代後期、中世が残した多くの文化遺産は、ハスコヴォ市の長い歴史を物語っています。

立地などに恵まれたハスコヴォ市は比較的早くから発展した都市であり、現在も成長を続けています。2000年以降のたった数年でハスコヴォ市の姿は以前よりより美しくなりました。地元の人はもとより、ハスコヴォ市を訪れる人でその美しさに気づかない者はいないでしょう。



観光案内センターで働くわれわれも、ハスコヴォ 市を訪れた人々の証言が最も信用できる「生き た」宣伝であることをよく知っています。

皆様、ようこそ!





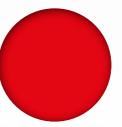
## アレクサンドロヴォの墳墓

4世紀のアレクサンドロヴォ墳墓は、トラキア文明が残したモニュメントの中で最も有名なものの一つです。



2000年に著名な考古学者ゲオルギー・キトフ (1943~2008)によりが発見されました。ブルガ リア国内でも有数の大規模な墳墓に数えられてい ます。

墳墓内の保存状態が極めて良い壁画は、トラキア 人の宗教、儀式、武装、生活、服装などについて 多くの新しい事実を教えてくれます。



2011年にアレクサンドロヴォ墳墓は全国100名所に登録されました。

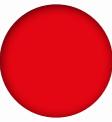
アレクサンドロヴォ墳墓は現在UNESCO世界遺産 の登録手続きを進めているところです。





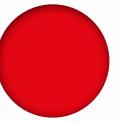
# 博物館

2009年に、墳墓のすぐそばで、東ロドピトラキア美術博物館がオープンしました。



建設には、日本国民からの無償資金・約300万ドルが使われています。大規模な施設の開館式には、 秋篠宮親王およびブルガリアのパルバノフ大統領 が出席しました。

展示品の中で最も目立つのは、サカール山脈北部 で発掘された98個の金製アップリケ(紀元前4500 年~4000年)です。



バルナのネクロポリス(墓地)で発見されたアクセサリーとホトニツァ村のネックレスと並んで欧州最古の金製品とされています。





### CERTIFICATE

The world's largest statue of the Virgin Mary with Jesus measures 14 m (46 ft) high and stands on a base of 17 m (55 ft 9 in). It was unveiled on 8 September 2003 and stands overlooking the city of Haskovo, Bulgaria

Guinness WORLD RECORDS LTD

### 聖母のモニュメント

子供のキリストを抱いた世界一大きい聖母のモニ ュメントは、聖母への敬虔、愛、そして感謝を込 めて建てられました。2003年にアルセニー司教の 聖水式により開幕しました。2005年にギネスブッ クへの登録を済ませ、2009年からはブルガリア観 光地100選にも入っています。

ラ・スタネフその他です。素材はコンクリート で、重量はおよそ120トンです。全長は32.8メート ルで、台の中に作られた礼拝室「聖母誕生」も魅 力の一つです。彫刻がそびえ立つヤマチャの小山 から町の美しい景色を一望できます。

彫刻の作者はペテョ・アレクサンドロフ、ニコ

モニュメントの建設を提案したのはハスコヴォ市長のゲオ ルギー・イワノフですが、市民の寄付がそれを可能にしま した。ほんの思いつきで選ばれた市のシンボルでは決して ありません。聖母は大昔から市の保護者とされてきまし た。1000年以上に渡りその歴史の中で聖母誕生祭は最も盛 大に祝われてきており、ハウコヴォ市会議9月8日の決議に よって公式な「ハスコヴォの日」に指定されました。

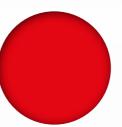
2010年に聖母像の隣に鐘楼を完成させました。高さ30メ ートルの構造はバルカン半島で最大級のものです。鐘楼 には総重量1トンを超える大小8つの鐘が設置されていま





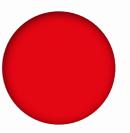
ウズンジョボ村の「聖母被昇天」教会

「聖母被昇天」教会は、ブルガリアの農村教会の中で最大の規模を誇っています。その中には、キリスト教とイスラムの要素が見事に融合されています。



教会として建てられたものは、1593年にオスマントルコにより壊されました。その場所に、正門が現存する、歴史家の記述によれば要塞を思わせるほど大規模な宿泊施設(ケルヴァンサライ)の一部としてモスクが建てられました。20世紀の初めに所有権がトルコからブルガリアへ移った後、教会への改築が始まります。

2007年のハスコボ市が主力となり、教会の修復工事が行われました。工事中、宗教的な事柄を内容とする、年度がいまだに不明のアラビア語碑文が2つ発見されました。イコンと壁画の修復も行われました。トリャブナ市出身の木彫り師ダリン・ボジコフが新たにイコノスタスを作り、その規模はブルガリアの上位三つのうちの一つに入ります。



また、窓には聖母一生涯の場面を描いたステンド グラスもつけてあります。

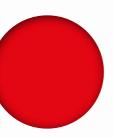
20世紀にウズンジョボ村の「聖母被昇天」教会は 重要文化財に指定されました。





### タツール村のオルフェウス聖地

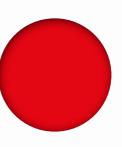
神格化された王を祭る、いわゆる「ヘロオン」 の最古のものが、タツール近くで見つかったこ とについては何の疑いもありません。最新の調査 では、それが他ではなく、あの有名な英雄で歌い 手、ロドピ地方のシンボルであるオルフェウス自 身であることがわかりました。



この遺跡は、ブルガリアに残る巨石モニュメントの中でも目立つものです。古代の神殿と中世時代の要塞から成っています。標高が最も高い場所に、階段が伝う石に掘られた霊廟があります。天と地、神と人間の仲介役を務めるオルフェウスの墓を表現しているとされています。

### ハスコヴォ県メゼック村の中世要塞

メゼック村の西はずれにある小山に、保存状態が最も良いブルガリアの中世要塞の一つネウツィコンの跡が残っています。11~12世紀に建てられたこの要塞は、四角形の形をし、面積は7デカール弱です。壁は白モルタルで固めた荒削りの石からできており、外側には装飾として3本のレンガ筋が施されています。



9つの頑丈な防衛塔に守られています。西方を向いた正門は、両側から攻撃できるよう敵が小さな広場を通らざるを得ないような仕掛けになっています。南壁と西壁がつながる場所にある防衛塔は、規模も大きく最良の状態で保存されています。かつて地下階を含む4階があったことがよくわかります。城内側には、侵入してからも敵を討てるような細長い隙間があります。籠城隊のいわば最後の逃げ場だったということになります。





グルヒテ・カマニのトラキア聖地

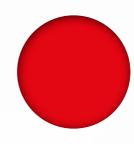
グルヒテ・カマニにあるトラキアの岩石聖地は、 トラキア時代の宗教施設の中でも極めて大きな規 模を誇ります。深い峡谷に分割された巨大な岩石 にまたがっています。



ハスコヴォ県フリャボヴォ村附近のド ルメン

いわゆるドルメン(ブルターニュ語で「ドル」は 「テーブル」、「メン」は「石」)は、ブルガリ アで見かける大型墳墓の一種です。 カスナコヴォ村附近、アフロディーテ とニンフたちを祭った聖地

保存状態が最も良いトラキア聖地の一つとされて います。初期鉄器時代、温泉を中心に作られた聖 地の跡を生かしています。



ハスコヴォ県ミハリッチ村の岩窟教会

ミハリッチ村の岩窟教会は、全国レベルの文化遺産に指定されています。ブルガリアで唯一、貝殻を三枚合わせたような形をしています。





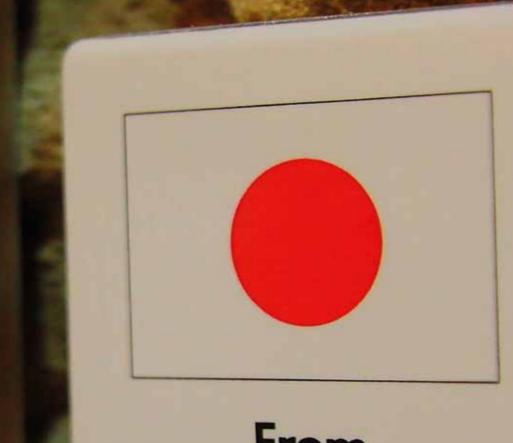
ホテルレトロ www.hotelretro.bg

レストランアラフランギテ www.alafrangite.com



レストランウノピュー www.unopiubg.com





From the People of Japan









